



# KAMIGO

～since2015～

上郷中だより第8-1号  
令和8年4月24日  
横浜市立上郷中学校  
横浜市栄区犬山町6-2  
電話(892)2478

## 「令和8年度の始まりに当たって」

校長 勝 俊一

141名の新入生を迎え、389名の全校生徒と42名の教職員、各種ボランティア・教育支援員の皆様とともに令和8年度の上郷中学校の学校生活が始まりました。引き続き校長を務めます勝でございます。今年度も学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

3月下旬から4月上旬の菜種梅雨のおかげでしょうか、桜も学校生活のスタートを彩ってくれました。中学校周辺が季節の移り変わりを感ぜられる豊かな自然に囲まれていることを実感し、この環境に改めて感謝いたしました。この学校だよりが発行される頃には部活動の本入部も始まり、1年生も含め学校全体で活動が本格始動していると思います。

さて、社会が様々に変化していても自分の判断（主他的に）で生活していける力を育成する、これが学校教育の目標とされます。自分で判断することを迫られた時、判断の材料となる事実や知識をどのくらい持っているかが大事になります。人は過去の体験や身に着けている知識をもとに自分の考えを作り上げていくからです。しかし、個人が持つ体験や知識はどうしても限定的になってしまいます。したがって、他者と意見交換を通じて新しい知識や思いつかなかった発想を集めていく作業も重要となります。自分の持つ知識だけを頼りに思い付きで判断することなく、他者との関わりによって自分の考えをより広く成長させる姿勢や方法を身に着けることが求められているのです。

上郷中学校の教科授業が知識の伝達や集積だけに終始せず、話し合い活動を通して生徒同士の意見交換にも力を入れているのはこのためです。総合的学習の時間に専門的見地を持つ方を招いて生徒の視野を広げたり、身の回りに存在する課題を自分事として捉え、仲間との意見交換や同じ課題に取り組んでいる組織や地域の方との交流の機会を大事にしています。

今年の生徒会スローガンは「<sup>いろどり</sup>彩の旅」と発表されました。生徒それぞれが持つ個性を「彩」と表現し、新しいことに挑戦し互い繋がって向上する道筋を「旅」と表しているそうです。

なんてセンスにあふれたスローガンなのでしょうか。まるで学校教育の最上位目標、すなわち上郷中が力を入れている活動を象徴しているように感じています。新しい年度を迎える<sup>と発表される</sup>生徒会スローガンですが、少ない文字数の中に、教育現場で最も必要とされている感性や行動の仕方が凝縮されており、毎年感心させられています。

このスローガンのもと、今年も教育活動全体で求められている力の育成に取り組んでまいります。ご家庭の皆様、地域の皆様、上郷中学校の教育活動へのご理解とご協力を引き続きお願いいたします。

